



?

美術館の
救世主は
猫なのか？



?

それは
ニャンとも！



アートになった猫たち
浮世絵から現代美術まで



歌川国梅
《新ばん猫世帯まごしらへ》(部分)
1877年 錦絵

招き猫亭コレクション

猫 美術館 展

2016 1.22 **金** ▶ 3.27 **日**

【同時開催】神戸ゆかりの芸術家たち

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
休館日 毎週水曜日
入館料 一般800円(600円)、高大生600円(400円)、
小中生400円(200円)
※()内は20名以上の団体料金
※神戸市すこやかカード提示の方、一般の半額
※のびのびパスポート持参の方、無料

ネコ割

飼い猫の写真(ハガキサイズまで)持参の方は
団体料金(写真の返却はできません)。
にゃんこギャラリーで展示します。

主催 神戸ゆかりの美術館、神戸新聞社
後援 サンテレビジョン、ラジオ関西、Kiss FM KOBE
協力 招き猫亭
企画協力 アートシード



西誠人《伸太郎》
2002年 木彫



梅貞雄《たま寝る猫》(部分)
1930年頃 紙・墨・墨色



歌川国芳《猫の百面相》(部分)
1840年代 錦絵

神戸ゆかりの美術館
KOBE ARTISTS MUSEUM